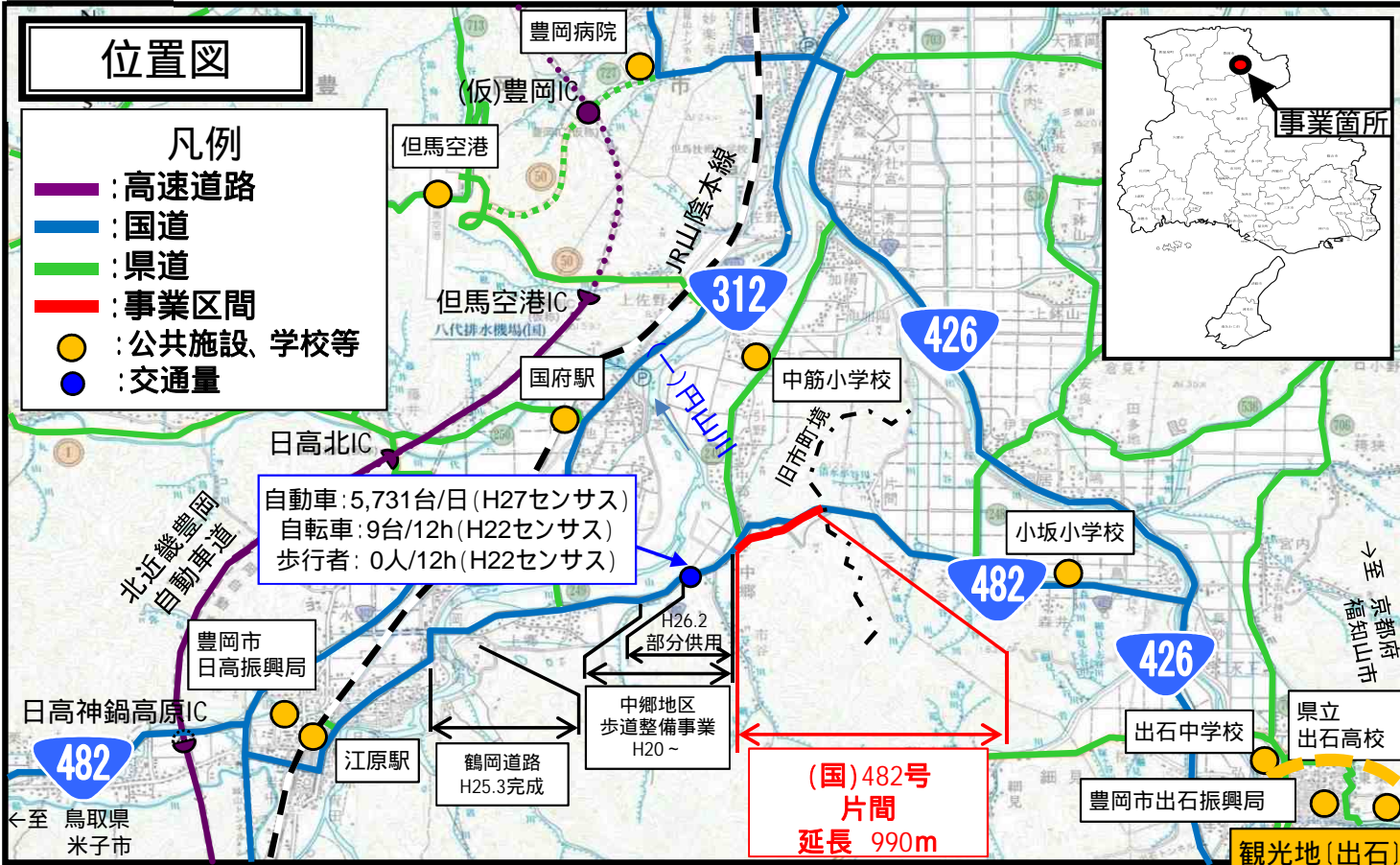


道路改築事業 国道482号〔片間〕 (休止:再評価〔第1回〕)

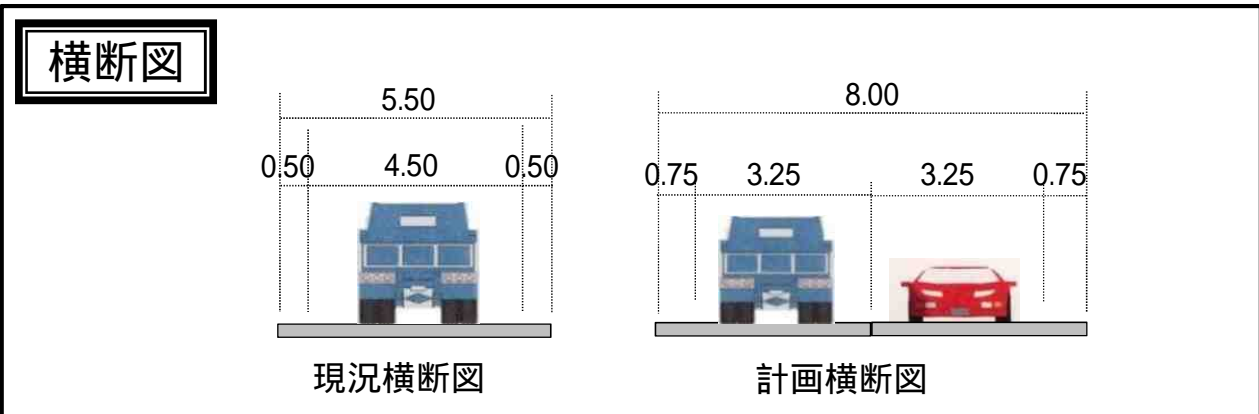


事業概要

新規評価年度	H29
事業採択年度	H30
着工年度	H30
再評価年度	R4

	今回評価時点	前回評価時点
総事業費	6.0億円	6.0億円
内用地補償費	0.9億円	0.9億円
完成予定年度	-	平成33年度
進捗率 〔内用地補償〕	0% 〔0%〕	0% 〔0%〕
残事業費	6.0億円	6.0億円
B/C	1.9	1.9

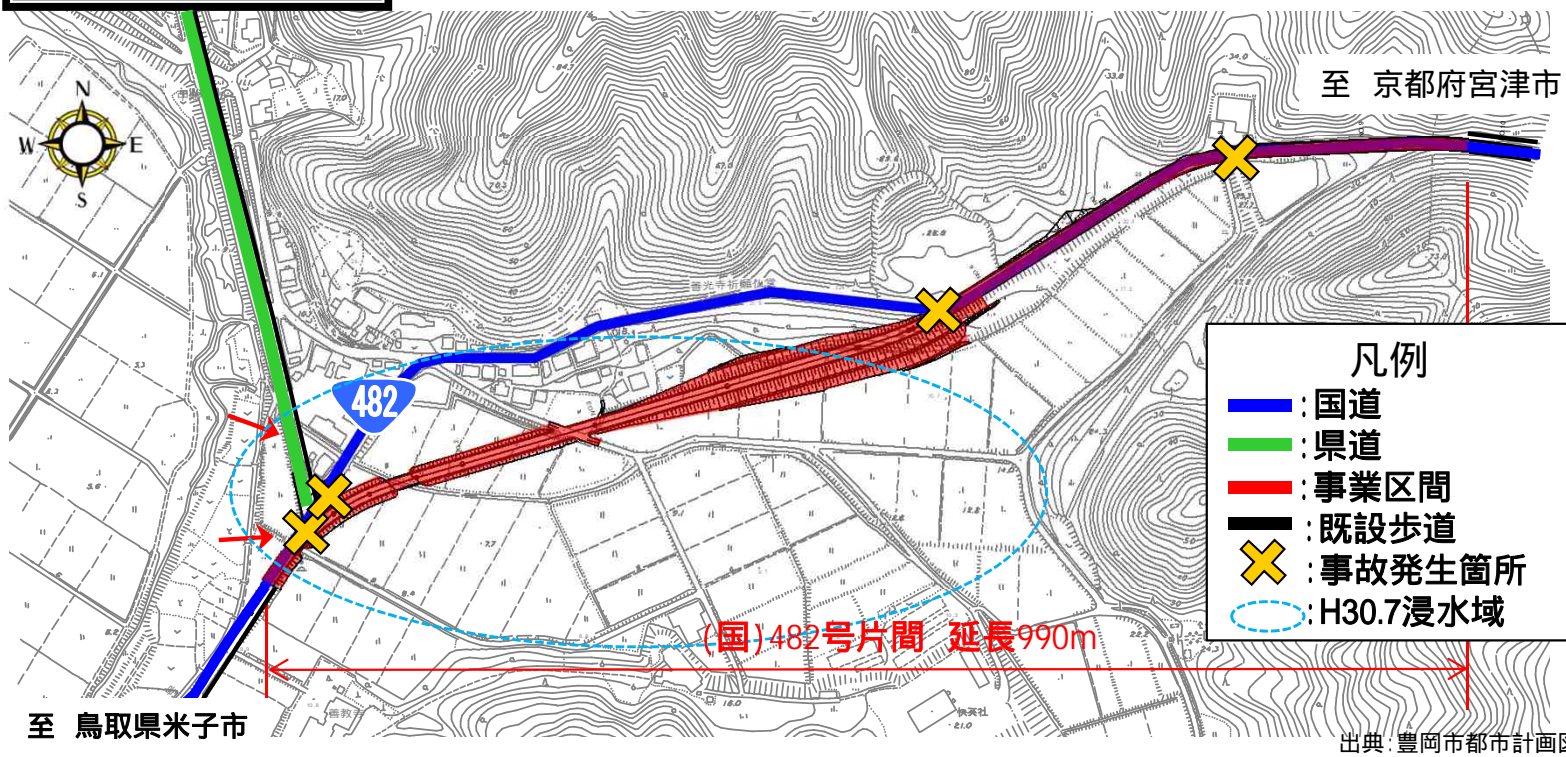
事業内容 (H29)新規評価 時点	【延長】道路改築990m 【計画幅員】2車線 歩道無し 車道6.5m (8.0m) 【計画交通量】4,500台/日 (H42予測) 【現況交通量】 自動車: 5,731台/日 (H27センサス) 自転車: 9台/12h (H22センサス) 【負担割合】国: 55% 県: 45%
-------------------------	--



事業の目的、必要性・優先性

目的	円滑な交通の確保 観光拠点へのアクセス強化 広域防災機能の強化
必要性 優先性	最小幅員4.5m、線形不良、事故4件(過去5年) 観光地(出石)へのアクセス道路 北近畿自動車道と国道426号間の緊急輸送道路ネットワークを構築

事業進捗平面図



- 凡例
- : 国道
 - : 県道
 - : 事業区間
 - : 既設歩道
 - ✕ : 事故発生箇所
 - : H30.7浸水域

現況写真

H30.7被災状況



H30.7被災状況



進捗状況

事業進捗状況・予定	
全体 (H30 ~ R3)	【事業費 = 6.0億円】 延長990m (R3年度末進捗率: 0%)
今後10年間 (R4 ~)	【事業費 = 6.0億円】 地元合意に向け、内水への影響を考慮した道路計画について再検討を行い、地元の合意が取り、整備方針が固まり執行状況環境が整った段階で事業再開を検討する。

工程表

- : 前回計画
- : 実施・計画

工種	年 度				
	H30	R1	R2	R3	R4
地元協議	■				
調査・設計	■				
用地補償		■	■		
工事			■	■	

再評価の経緯・結果

再評価に至る経緯等	事業着手後の平成30年7月豪雨により内水(床上浸水:1件、床下浸水:5件)による浸水被害が発生したため、道路整備で実施する盛土により滞水面積減少することを地元が懸念。
再評価の結果	地元は、内水位の上昇が想定されない道路整備を望んでおり、今の道路計画に地元の賛同を得ることができていないことから、 やむを得ず休止する。 (休止について地元合意済み)